

CASBEE[®]-不動産【集合住宅】評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-不動産 2024年版

v1.0

建物概要					
建物名称	LaDouceur天満	敷地面積	394 m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	大阪府大阪市北区同心2-1-34	建築面積	221 m ²	評価の実施日	2025年2月3日
用途地域	商業地域、防火地域	延床面積	2,784 m ²	作成者	東 晃司
建物用途	共同住宅	地上15F	RC造	不動産評価員番号	ふ-001011-26
竣工年月	2020年9月29日	階数		確認日	2025年2月14日
直近の大規模改修実施年月		構造		確認者	柳澤 将登
		平均居住人員		不動産評価員番号	ふ-001192-27
		年間使用時間	人 時間/年		

評価結果									
70.3 /100		合計		ホールライフカーボンの評価				評価しない	
(得点 / 満点)									
S ランク:★★★★★		≧	78						
A ランク:★★★★		≧	66						
B+ランク:★★★		≧	60						
B ランク:★★		≧	50						
ポイントは小数点第1位までの表示とする									
				取組項目数：A1-A5				B1,B3-B5	
				B6-B6				C1-C4	

1. エネルギー／温暖化ガス					
評価	最大加点	必須項目	指標（*は参考値）	評価値	
適合	加点 1	根拠等	:省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制	一次エネルギー(目標値)	324 MJ/m ² ・年
19.0	20 / 15	1.1 使用・排出原単位(計算値)	省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリングの実施、運用管理体制の構築	一次エネルギー(計画値)	324.3 MJ/m ² ・年
		根拠等	BEI=0.81	二次エネルギー(*)	33.2 kWh/m ² ・年
				GHG排出量(*)	12.0 kg-CO _{2eq} /m ² ・年
4.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)	共用部の評価	一次エネルギー(実績値)	324.3 MJ/m ² ・年
		根拠等	324.3MJ／㎡・年	二次エネルギー(*)	33.2 kWh/m ² ・年
				GHG排出量(*)	12.0 kg-CO _{2eq} /m ² ・年
	- / 5	1.3 省エネルギー(仕様評価)	専有部の省エネ対策		
		根拠等	評価対象外	導入された対策項目数	項目
3.0	5	1.4 自然エネルギー(間接利用)			
		根拠等		利用率	%
26.0	30.0	合計			

2. 水					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等	:目標設定、モニタリング、運用管理体制	水使用量(目標値)	11.0 L/m ² ・年
	0	2.1 水使用量(計算値)	目標設定、モニタリングの実施、運用管理体制の構築	評価しない	
2.0	5	2.2 水使用量(仕様評価)			
		根拠等	泡沫水栓	取組数	1 項目
5.0	5	2.3 水使用量(実績値)		水使用量(実績値)	11.0 L/m ² ・年
		根拠等	11L／㎡・年		
7.0	10	合計			

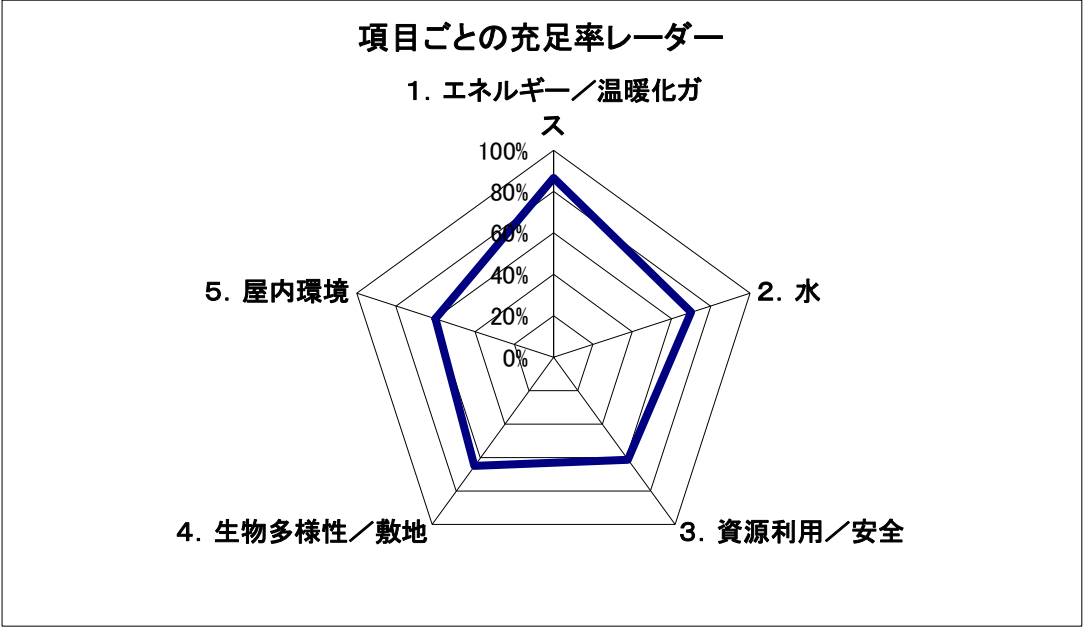
3. 資源利用／安全					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等	:新耐震基準への適合またはIs値、If値		
3.0	5	3.1 高耐震・免震等	新耐震基準への適合	なし	
3.0		3.1.1 耐震性	3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価		
		根拠等	建築基準法に定められた耐震性		
3.0		3.1.2 免震・制震・制振性能			
		根拠等	装置を導入していない		
3.0	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理抑制	3.2.1と3.2.2の平均で評価する		
		3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する		
		① 躯体材料	無		
3.0		② 非構造材料	ビニル系床材	リサイクル材品目数(非構造材)	1 品目
3.0		3.2.2 廃棄物処理抑制			
	加点 1	根拠等	1)2)6)	取組数	3 ポイント
3.0	5	3.3 躯体材料の耐用年数		経過年数＋今後の想定耐用年数	年
		根拠等	等級1相当	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均	
3.2		3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理／バリアフリー		更新年数の平均値	15 年
3.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔		自給率向上の取組数	1 項目
		根拠等	空調機15年、ポンプ類15年	維持管理に関する取組数	13 ポイント
2.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上			
		根拠等	3)途絶対策		
5.0		3.4.3 維持管理			
		根拠等	1)頻度 2)役割 3)手順 4)点検 5)実施 6)共有		
3.0		3.4.4 バリアフリー対策			
		根拠等	建築物移動等円滑化基準を半数以上満たしている		
12.3	20	合計			

4. 生物多様性／敷地					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等	:特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない		
		根拠等	敷地内に植栽なし	なし	
4.0	10	4.1 生物多様性の向上		②取組数による場合のポイント数	ポイント
[4.2対象外の時は点数を倍]		根拠等			
0.0	0	4.2 土壤環境品質・ブラウンフィールド再生			
[対策不要は対象外]		根拠等	対象外	なし	
5.0	5	4.3 公共交通機関の接近性			
5.0		4.3.1 公共交通機関の接近性		鉄道駅またはバス停からの距離	3 分圏内
		根拠等	バス停(源八橋)徒歩3分		
		4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮		評価しない	
4.0	5	4.4 自然災害リスク対策		リスクの合計数	2 種類
		根拠等	高潮 地震動:対策有		
13.0	20	合計			

5. 屋内環境					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等	:建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合	なし	
		根拠等	質問票への適合		
		5.1 自然利用			
1.0	3	5.1.1 屋光利用	5.1.1の点数×2/3+5.1.2の点数×1/3		
1.0		5.1.1.1 自然採光		開口率	19.2 %
		根拠等	Aタイプ Bタイプ 按分結果 19.2%	屋光利用設備	0 種類
1.0		5.1.1.2 屋光利用設備			
		根拠等	なし		
1.0	3	5.1.2 通風・排熱			
		根拠等	自然換気開口		
2.0	3	5.1.3 眺望・ゆとり		天井高	2.4 m以上
		根拠等	天井高さ2.4m以上		
		5.2 健康・快適			
1.0	2	5.2.1 暑さ・寒さ			
		根拠等			
2.0	2	5.2.2 主要な居室の冷房・暖房			
		根拠等	冷暖房装置有り		
2.0	2	5.2.3 化学汚染物質対策・適切換気			
		根拠等	化学汚染物質を抑える建材あり		
1.0	2	5.2.4 騒音・遮音			
		根拠等	レベル2を満たさない		
2.0	3	5.3 防犯対策			
		根拠等	ロビーインターホン ITVカメラ監視		
#####	20	合計			

6. ホールライフカーボンの評価【任意】					
評価	最大(加点なし)	指標	評価値		
	5	取組数	A1-A5		項目
↑評価しない場合は空欄			B6-B6		項目
			B1,B3-B5		項目
			C1-C4		項目

LaDouceur天満



環境性能の特徴

- ・非構造材料にリサイクル材を使った建材が用いられている
- ・公共交通機関に近接しておりアクセス良好